

# 教育しまね

2012年(平成24年)7月

Vol. 51

島根県教育委員会

特集

子どもたちの「生きる力」を  
はぐくむために

## 子どもたちの「生きる力」をはぐくむために 読書と学校図書館を活用した調べ学習を推進しています

**今**、子どもたちの周りには、テレビやゲーム、インターネット

などからの刺激の強い情報があふれています。そういった中だからこそ、子どもたちが小中学生の時期に読書を通じて心を磨くとともに、図書資料など活字の情報から学びを深めていくことは、人格を形成する上で大きな意味を持ちます。

子どもたちは読書の中で、普段の生活ではできない様々な出来事に出会い、登場人物と悲しみや喜びをともしることによって、想像力を高め感性を磨いていきます。



▲飯南町在住の絵本作家 かげやま まきさんによる「子ども読書しまね」のキャラクター

### 学校の声

本好きな生徒が多くなりました。

児童生徒が読む本の幅が広がりました。

		平成23年
本好きな児童生徒が多くなった	小学生	78.5%
	中学生	62.0%
児童生徒が読む本の幅が広がった	小学生	79.4%
	中学生	45.0%

小中学校のアンケート:県義務教育課調べ

また、学校図書館の資料を使って授業の中で行う調べ学習では、子どもたちは情報を活用することを学び、思考力や判断力、表現力を身につけていきます。

し、主体的に社会に参加していく上で欠かせない「生きる力」となります。島根県ではこの「生きる力」をはぐくむために、子どもたちと本をつなぐ取組を「子ども読書しまね」として展開しています。

## 海士町立福井小学校の取組

**読** 書の楽しさを知り、学校図書館や本と児童をつなぐことを目的に、本を借りて読むための時間と場の確保、おすすめの図書リストの作成、全校朝礼時の教員による本の紹介、家庭との連携を目的とした図書だよりの発行などに取組む。

**情** 報リテラシー系統表及び学校図書館を活用した学習の年間計画をもとに、学校図書館を活用した授業づくり及び授業実践を系統的・計画的に行う。

**学** 校司書の専門性を活かし、ブックトーク、各児童の興味・関心や読書力にあった資料提供、調べるスキル指導、調べ学習時の個別支援など学校司書と連携した授業を展開することにより、図書館活用教育の充実を図る。

**学** 習情報センター及び読書センター機能を活用した授業を支える取組として、学級活動での図書館利用指導の充実やクイズ形式で学ぶ楽しさを味わいながら調べるスキルを身に付ける図書館クイズの時間を設定する。



▲図書館クイズに取り組む児童の様子

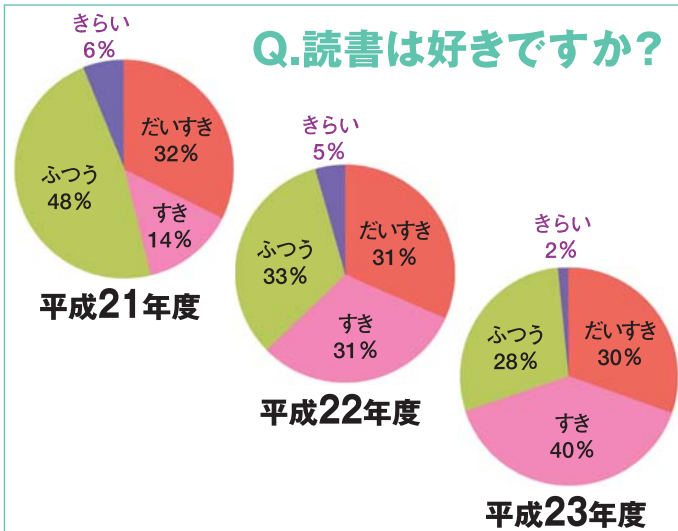
## 成果

**図** 書貸出数の増加に伴い各児童の読書力が身に付くと共に、読書の幅の広がりや文学性の高い作品を読むなど読書の質の高まり、読書意欲の向上がみられた。

**系** 統的・計画的に学校図書館を活用した授業を展開するための校内体制づくりや活用のためのしくみが構築され、児童の読書・学習両面における図書館利用の習慣化が進んだ。

**6** 年間の系統性を意識した授業実践等により、児童の情報リテラシースキル(情報収集する力、記録・整理する力、まとめ・伝え合う力)が向上し、問題解決のために積極的に図書館を活用しようとする児童が増えた。

### Q.読書は好きですか?

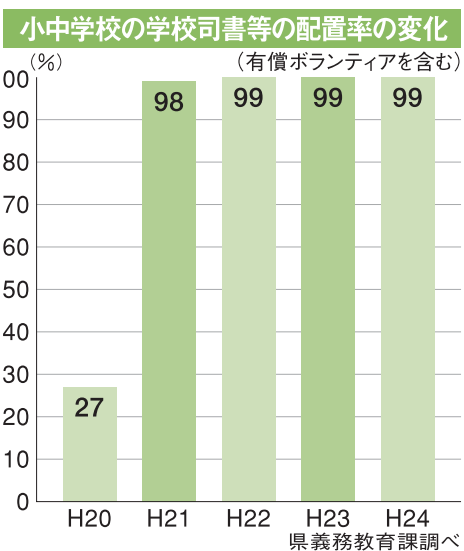


# 学校・家庭・地域での読書活動

## 学校では

**今** までの学校図書館の中には、子どもたちに活用されない、本の倉庫のような図書館がたくさんありました。島根県では学校図書館を「読書センター」として機能させるために、「人のいる図書館」をめざして、小中学校では平成21年から、県立高校と特別支援学校では平成23年度から、学校司書や環境整備員等を配置する事業を展開しています。

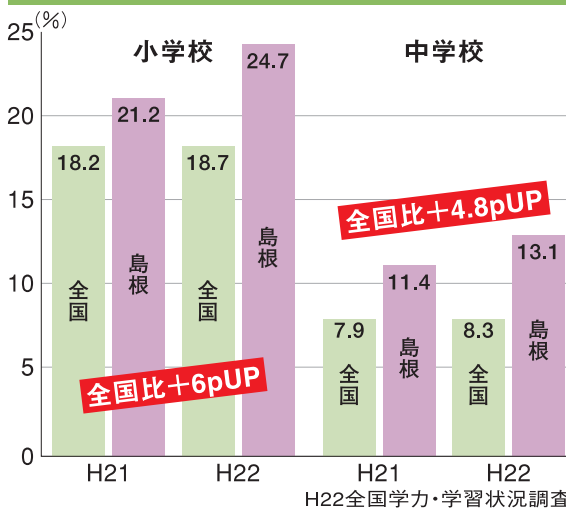
この結果、県内のほとんどの学校で「人のいる図書館」が実現しました。



また、「人のいる図書館」になったことで温もりが生まれ居心地の良い場所となり、児童生徒の来館が大きく増加しました。

**※言葉解説**  
 ◎司書教諭／読書活動や図書館を活用した授業を中心的に進める専門の資格をもった学校の教員  
 ◎学校司書／子どもたちに本を紹介したり学習に使う図書資料を準備したりする学校図書館の職員

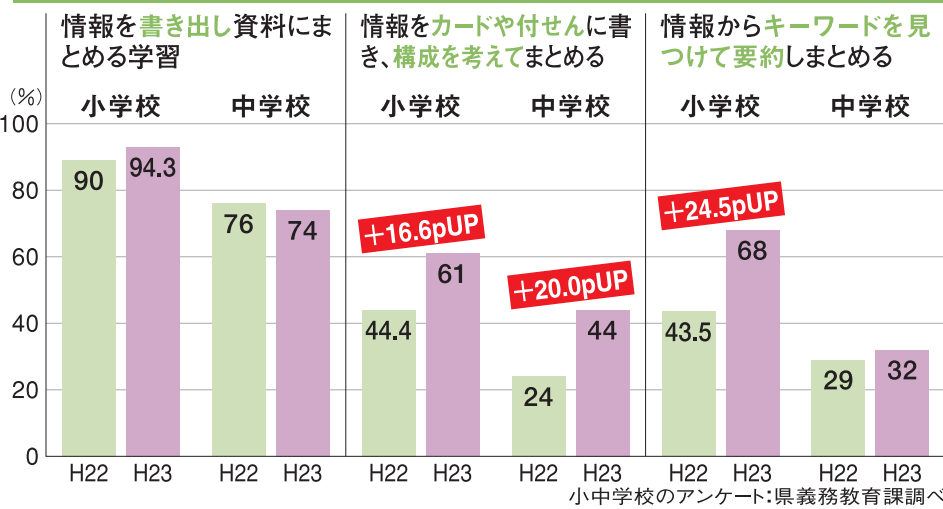
## 週に1回以上図書館に行く児童生徒



学校図書館は子どもたちが読書をするための場所ではありません。図書資料を使って調べ学習などを行う「学習・情報センター」としての機能ももっています。子どもたちが調べ学習をする上で必要となる情報の探し方やまとめ方を習得するための学習を展開していけるように、様々な取組を行っています。

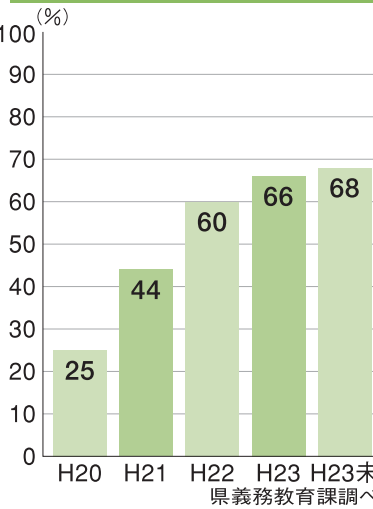
こうした学習に対する教職員の意識を高め、理解を深めるために、担当者及び管理職を対象にした研修や県内外に向けて学校図書館活用教育フォーラムを開催し、活用に関する情報を発信するフォーラムを実施しています。また、図書館を活用した学習の要となる司書教諭の養成にも力を入れています。

## 調べ学習の形態の変化



また、調べ学習等においても「情報をカードや付せんに書き、構成を考えてまとめる学習」や「情報からキーワードを見つけて要約して資料にまとめる学習」へ変化した学校が増えています。

## 司書教諭発令の推移



## 家庭・地域では

家庭では、日常の親子のふれあいの中で幼児期から読書への興味・関心が向けられるよう、「親子読書」を推進してきました。

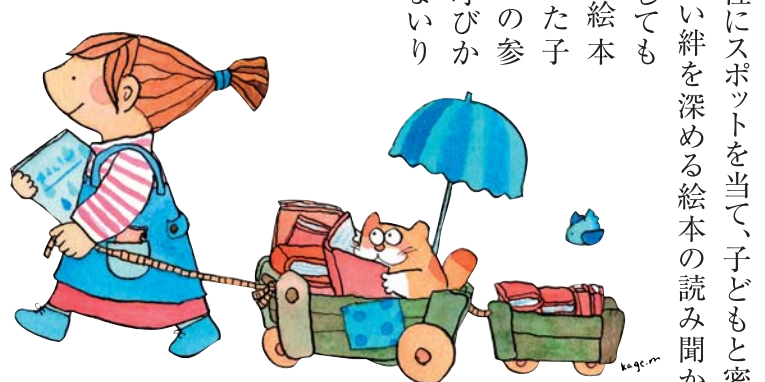
また、地域では、子どもにとって身近な場所である公立図書館や公民館等を支援し、読書ボランティアを支えてきました。

そして、平成21年度からの「子ども読書島根しまね」の取組は、学校図書館に着目して取り組んできましたが、もっと幼い頃から子どもと本をつなぐ取組を望む声が大きくなってきました。

そこで今年度からは、家庭における未就学児(0～6歳)の読書習慣の定着を目指した取組を行っています。

●「ねえーこの本よんで」プロジェクト  
 県立図書館が選書した「しまね子育て絵本」約1050冊を各市町村に配布(計約19950冊)し、保育園や幼稚園、子育て支援センターなど地域に貸出して、子どもが気に入った絵本を家庭に持ち帰ることができる仕組みを作ります。「ねえーこの本よんで」とせがまれたら、ぜひ読み聞かせてください。

●「読みメン」プロジェクト  
 男性にスポットを当て、子どもと密接にふれあい絆を深める絵本の読み聞かせを体験してもらい、絵本を使った子育てへの参加を呼びかけてまいります。



▲飯南町在住の絵本作家かげやまさきさんによる「子ども読書しまね(県立図書館バージョン)」のキャラクター

## 読みメンパーク inしまね

この取組をわかりやすくお知らせするために、男性にスポットを当てたイベントを開催します。

日時／8月5日(日)午後1時～午後5時

場所／島根県立男女共同参画センター(あすてらす)

内容／  
 ◎安藤哲也氏絵本ライブと講演  
 ◎読みメン道場  
 ◎「フランパン雲南」による絵本の読み聞かせ  
 ◎子どもの読書ボランティアによる人形劇・影絵劇読書会  
 ◎対象／未就学児とその保護者など(子ども読書会も興味をお持ちの方ならどなたでも)

お問い合わせ／島根県立図書館  
 ☎0852-22-5729



▲父親による絵本の読み聞かせ

# 「神話博しまね」開催!!

いよいよ

**今** 年は、数多くの出雲神話が描かれた「古事記」が編纂されて1300年を迎えます。これを機に、島根県は、神話伝承など特色ある島根の歴史文化の魅力を発信する「神々の国しまね」プロジェクトを平成22年度から25年度にかけて進めています。

このプロジェクトのシンポルのイベントである「神話博しまね」がいよいよ始まります。古代出雲歴史博物館の特設会場では、神話をテーマとした映像や伝統芸能を観ることが出来ます。また、博物館では島根の歴史を学ぶことが出来ます。

会期中、「神話映像館」及び古代出雲歴史博物館の小・中学生、高校生、特別支援学校生、校外学習、公民館行事などで、お気軽にお立ち寄りいただき、学習の場として活用ください。



**ふるまい島根 おもてなしの心**  
 雲市大社町の小学生(子ども)、中学生、若者たちは、あいさつ運動、おもてなし運動、大社地域をPRする活動

**ふるまい向上県民運動**  
 島根県では、平成22年からふるまい向上県民運動を推進しています。この運動は、あいさつ礼儀、規範意識、思いやりの心などの「ふるまい」を社会全体、すべての世代で大切にしていこうという取組です。「島根のふるまいのよさを自慢できるように学校、家庭、地域が連携して県内各地で様々な取組が進められています。」

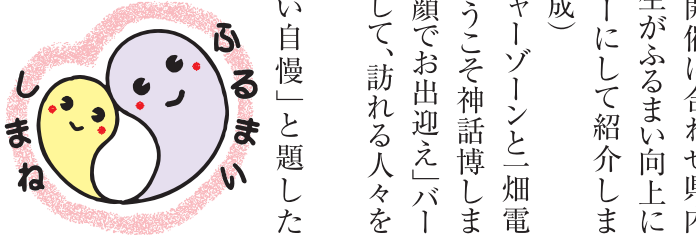
**神話博しまね**  
 ●会期／平成24年7月21日(土)～11月11日(日)  
 ●開催時間／9:00～18:00(7月～10月) 9:00～17:00(11月)  
 ●入館料／  
 ◎神話映像館—大人 有料／高校生以下無料  
 ◎古代出雲歴史博物館—有料 ※高校生以下常設展無料  
 ◎その他の施設—無料  
 ●お問い合わせ先／神々の国しまね実行委員会 TEL.0852-22-6757

**「わが校ふるまい自慢」**  
 「よいこそ神話博しまねへ。」  
**島根の子どもが笑顔でお出迎え!**  
**島根のよさを発信!**

「神話博しまね」の開催に合わせて県内の小学生、中学生がふるまい向上に取り組みの様子をポスターにして紹介しています。(19市町村26種類作成)

神話博会場内カルチャーズゾーンと二畑電鉄の1編成(2両)に「よいこそ神話博しまねへ」島根の子どもが笑顔でお出迎え、パージョンのポスターを掲示して、訪れる人々を迎えます。

また「わが校ふるまい自慢」と題したパージョンのポスターは、県内を走るJR・畑電鉄内、隠岐汽船フエリー内、その他県内の主な公共施設等で掲示します。



## 神々の国しまねようこそ! 高校生の文化発信ステージ

島根の子どもたちも、「神々の国しまね」の歴史文化をしっかり伝えます。

高校生が「神々の国しまね」にちなんだ公演や製作した作品の展示および開発した商品等の販売を行います。

日時／8月18日(土)午前10時～午後3時  
 会場／大社文化プレイスうらら館  
 内容／(参加学校)  
 ◎公演  
 神楽(浜田養護・浜田商業)  
 小倉百人一首(松江北・益田)  
 日本音楽(大社・松江北・松江南)  
 演劇(三万屋)  
 ※進行は出雲

【展示】  
 銅剣のレプリカ・出雲大社の模型(松江工業)  
 古代料理レシピ(大社・島根中央)  
 「神々の国しまね高校生写真コンクール・美術コンクール」入賞作

【販売】  
 開発商品(縁札、いもころ、出雲高プレス、ハム、矢高味噌、ドクロふりかけ等)の販売  
 雲商業 出雲農林・矢上・浜田水産・益田翔陽  
 お問い合わせ先／高校教育課  
 ☎0852-22-6917



▲神楽(浜田商業高校)

## 2012全国子ども神楽サミットin島根



▲子ども神楽(雪田子ども神楽団/邑南町)

**県** 内各地と全国各地で神楽の伝承活動を行っている子どもたち総勢300名が「神楽」を通して交流する「2012全国子ども神楽サミットin島根」を浜田市で開催します。

日時／8月18日(土)～8月19日(日)  
 午前10時～午後5時

場所／石炭文化ホール(浜田市)

出演団体  
 県内：出雲地域2団体、石見地域8団体、隠岐地域1団体  
 県外：岩手県、埼玉県、奈良県、岡山県、広島県、高知県、宮崎県(7団体)  
 お問い合わせ先／財団法人島根県文化振興財団(☎0852-22-5502)

※入場無料ですが整理券が必要です。  
 この大会を通して、自分たちが住む地域の歴史文化のすばらしさについて改めて気づき、ふるまいを愛し、誇りに思う心が一層深まることを期待しています。  
 全国の「神楽」の舞をみなさんぜひご覧ください。

INFORMATION

「しまね特別支援教育推進プラン」を策定しました!

**県** 教育委員会では、特別な支援を必要とする子どもの自立と社会参加の実現に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うための具体的な方策として、本県における特別支援教育の推進に関する基本計画である「しまね特別支援教育推進プラン」を策定しました。

- 重点テーマ**
- 教育的ニーズの把握 (校内体制の整備による一人一人の教育的ニーズの把握)
  - 一貫した支援 (「個別的教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用した一貫した支援の推進)
  - 職業教育の充実 (高等部生徒の職業教育の充実や生徒本人の適性に応じた卒業後の進路開拓)
  - 教育環境の整備 (学校全体の人的配置の充実や県立学校の施設設備のさらなる整備)
  - 関係機関の連携した取組 (関係機関が連携した支援体制の構築)

※特別支援教育課HP <http://www.pref.shimane.lg.jp/tokubetsusushien/>

企画展

「台湾 金瓜石・瑞芳鉱山と黄金博物館展」を開催します。

日時/10月31日(水)~11月26日(月)  
会場/石見銀山世界遺産センター(大田市大森町1597-3)  
展示室観覧時間/午前9時~午後5時30分(入室は午後5時まで)

清戦争の講和条件として日本に割譲された台湾には、金瓜石鉱山、瑞芳鉱山など豊富な埋蔵量を誇る金銅山がありました。石見銀山で近代的な鉱山操業への転換に取り組んだ「藤田組」は、その経験を生かし台湾の鉱山経営に乗り出しました。近代鉱山が取り結ぶ日本と台湾の関係について紹介するとともに、世界遺産を目指す「金瓜石鉱山」に焦点をあてた展示を行います



▲金瓜石鉱山の選鉱場跡

○お問い合わせ先 石見銀山世界遺産センター TEL0854-89-0183  
島根県文化財課世界遺産室 TEL0852-22-5642

島根の歴史を体感しよう! 「いにしえ倶楽部」参加者募集のおしらせ

家族や友達と一緒に、楽しく「いにしえの島根」を体感しませんか? 参加は無料です。

- 1「夏休み!みんなで発掘体験!」**  
日時/7月29日(日)午前9時~11時30分  
場所/大田市波根町 高原遺跡(山陰道予定地内遺跡発掘調査現場)  
内容/発掘中の遺跡で土器を発掘したり、調査用の機器を使ってみたりします。
  - 2「納涼!黄泉の国探検」**  
日時/8月5日(日)午後6時30分~8時30分  
場所/八雲立つ風土記の丘(松江市)  
内容/「黄泉の国」神話を学び、黄泉の国の世界を体感しに夜の横穴式石室(岡田山古墳)をきもだめし風に訪れます。
  - 3「進め!まいセン探検隊~土笛(つちふえ)づくり編~」**  
日時/8月19日(日)午後1時~4時  
場所/埋蔵文化財調査センター(松江市)  
内容/埋蔵文化財調査センター(略して「まいセン」)の施設見学や出土品に触れる体験。弥生時代の土笛をお手本に土笛づくり体験も行います。
- \*それぞれの回で、内容や会場が異なります。募集定員は各回ごとに30人(事前申込が必要・定員になり次第受付終了)。小学生以下の方は保護者の方と一緒にご参加下さい。
- 申し込み・問い合わせ 島根県埋蔵文化財調査センター TEL0852-36-8608

しまね人権フェスティバル2012を開催します。

**同時開催** 人権・同和問題を考える県民のつどい  
浜田市人権尊重のまちづくり推進大会

日時/10月28日(日)  
時間/午前9時30分~午後3時30分  
会場/ふれあいジム・かなぎ(浜田市)

- 内容/◎渡辺千賀子さん「トーク&コンサート」  
◎石見神楽社中によるオープニング演奏  
◎人権問題講演会、人権学習発表会  
◎全国中学生人権作文コンクール作文朗読  
◎人権課題啓発・展示・ワークショップ・飲食ブース等多彩なブース出展



▲渡辺千賀子さん

お子様と一緒に楽しみながら、身近な人権課題について考えてみませんか。ご来場をお待ちしています

○お問い合わせ先 島根県人権啓発推進センター TEL 0852-22-6476

神話博しまね 写真展 「八雲立つ出雲-植田正治、上田正昭が歩いた神々のふるさと」

日時/7月21日(土)~10月8日(月・祝)  
期間中の休館日 8月21日(火)・9月18日(火)

開館時間/午前9時~午後6時  
会場/古代出雲歴史博物館特別展示室(出雲市大社町)  
観覧料/一般600円、大学生400円、小中高生無料

**鳥** 取砂丘を舞台に、数々の魅力的な作品を残した写真家植田正治氏と、歴史学者で古代史研究の重鎮上田正昭氏が、昭和40年(1965)に『カメラ紀行出雲の神話』を出版しました。神話ゆかりの地を写真と文章で解説したものです。本展覧会では、この本を中心に当時のフィルムから写真を復刻して展示します。半世紀ほど前の郷土の姿と魅力をお楽しみください。

○お問い合わせ先 古代出雲歴史博物館 TEL 0853-53-8600

風土記の丘開所40周年記念講演会・重陽の宴

**八** 雲立つ風土記の丘は、昭和47年に全国6番目の風土記の丘としてオープンしました。周辺の遺跡から出土した資料の展示や、古代体験イベントなど皆様に楽しんでいただいております。今年9月9日に開所40周年を迎えます。

- ◎講演会「出雲を原郷とする人たち」  
講師:岡本雅享氏(福岡県立大学)  
(定員80名、要申込、参加費300円)  
日時/9月8日(土)午後2時~4時
- ◎重陽の宴  
日時/9月9日(日)  
「お茶席・そば席」午後4時~6時  
「仁多乃炎太鼓」午後6時~7時  
(入場無料、一部有料コーナーあり)



▲竪穴式住居

○会場・お問い合わせ先 風土記の丘 TEL 0852-23-2485

県立施設の企画展等のお知らせ(7月~2月)

施設名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
県立図書館 (0852-22-5725)	観光立県しまね (7/6~8/1)	ねえ、この本読んで (8/3~9/5)	神社・寺院 建築物にみる匠の技 (9/7~10/3)	ロック・ミュージック (10/5~10/31)	この本いいよ~ 島根の高校生・高専生おすすめの本 (11/2~12/5)	中村元と松江 (12/7~12/27)	少女小説の世界 (1/5~2/6)	世界に誇る日本の技術 (2/8~3/6)
県立青少年の家 (0853-69-1316)	サマーチャレンジ(8/22~25) キッズチャレンジ夏(8/10~12) にこにこファミリー秋(9/29~30) げんキッズチャレンジ秋(11/3~4) げんキッズチャレンジ冬(12/8~9)							
県立少年自然の家 (0855-52-0716)	チャレンジ・ザ・サマー第1回(7/14~15) ジュニア・サマー・キャンプ(8/4~8) 子ども探検隊in自然の家(10/13~14) 森と海のつどい第2回(11/24~25) ジュニア・ウィンター・キャンプ(12/22~24)							
古代出雲歴史博物館 (0853-53-8600)	写真展「八雲立つ出雲」 植田正治、上田正昭が歩いた神々のふるさと(7/21~10/8)		戦国大名 尼子氏の興亡 (10/26~12/24)			匠の技-弥生木製品から出雲大社まで- (1/18~3/17)		
八雲立つ風土記の丘 (0852-23-2485) 年間通して、高校生以下無料	土器から陶器へ~民芸の源流に迫る~ (7/14~9/23)				出雲国の源流から~意宇の神仏の宝物~ (11/17~1/14)			
県立美術館 (0852-55-4700) 神々の国しまねプロジェクトにより 期間中(7/27~H25 3/31) 高校生以下無料	麗しき女性の美(6/8~7/16)		「民藝」-手仕事の美(7/27~9/17)		松本竣介展(9/29~11/11)	島根県総合美術展(11/24~12/2)	日本伝統工芸展(12/12~12/25)	風景版画の宴(1/2~2/4)
石見美術館 (0856-31-1860) 神々の国しまねプロジェクトにより 期間中(7/14~H25 3/31) 高校生以下無料	マンチェスター大学ウィットワース美術館所蔵 巨匠たちの英国水彩画展(7/14~9/24)		東京藝大美術館所蔵 日本近代美術の名品展 -森鷗外と米原雲海を中心に-(10/6~11/26) 特別展「澄川喜一彫刻展」(10/6~12/24) 同時開催		平成24年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ヨーロッパの近代美術(12/22~2/18)			
三瓶自然館サヒメル (0854-86-0500) 神々の国しまねプロジェクトにより 期間中(7/21~H25 3/31) 高校生以下無料	夏の企画展「宇宙旅行は夢じゃない」(7/14~9/23) 大型ドーム映像特別番組「宇宙兄弟~一点のひかり~」(7/21~9/23)						自然を楽しむ科学の目 (1/2~1/31)	
宍道湖自然館ゴビウス (0853-63-7100) 神話博しまね 期間中(7/21~11/11) 高校生以下無料	第23回特別展「かにつ記~陸を歩くカニとそのなかまたち~」(7/21~9/3) 生き物やイベント情報を紹介しています。ぜひゴビウスホームページもご覧ください。						第24回特別展(12/22~2/4)	
しまね海洋館アクアス (0855-28-3900) 神話博しまね 期間中(7/21~11/11) 高校生以下無料	特別展「神話の世界」~古事記に登場する生き物たち~ (7/21~11/12)		特別期間中 関連イベント「アクアス神話めぐり」(特別展期間中毎日(お盆期間を除く)) 石見神楽上演(7/28~8/26 期間中 毎週土、日実施 13:00~16:00) 神話スポットガイド(特別展期間中平日限定)		アシカ・アザラシパフォーマンス神話バージョン(9/1~11/12)			

保護者向け教育広報紙「教育しまね」をよりよくするため、みなさんのご意見をお寄せください。

〒690-8502 松江市殿町1教育庁総務課  
TEL.0852-22-5406 FAX.0852-22-5400

ホームページ 島根県教育委員会

検索